

社会的・職業的自立支援教育プログラムの紹介

このプログラムには、キャリア教育を通じて育成する能力として例示されている、コミュニケーション・スキルや課題対応能力の向上を目指していくもの、学ぶこと・働くことの意義・役割の理解等を深めていくもの、自らの進路・職業・将来を考えていくきっかけを提供するものなど、多様な内容のものがあります。ここでは、

4プログラムを紹介します。

学校として実施しているキャリア教育の目的やねらい、年間計画等を踏まえ、生徒の状況に合った内容の教育プログラムを複数組み合わせ活用するなど、系統的に位置付けていくことで、その効果が高まっていきます。

コミュニケーションは、人生で役に立つものだ実感した。
この授業を通して、自分のことも他人のことも分かった気がした。

★人間関係形成・社会形成能力 → コミュニケーション力の向上を目指して ★自己理解・自己管理能力

プログラム名

からだで感じる「コミュニケーションワークショップ」[2コマ連続×3回以上]
(NPO法人ドラマケーション普及センター)

コミュニケーション能力、表現力の向上を目的として、100種類以上のワークを組み合わせ、身体を使ったコミュニケーションを経験するプログラムです。

(1) 講義「コミュニケーションの必要性」「会社が求める人材とは」(初回のみ10~20分)
(2) ワーク(2コマ×3~6回)①~④までの各項目で、100種類以上のメニューを用意

- ①自己認知・他者理解 → からだを通して、自分・他者に気付いていく。感性(五感)を刺激し、「やる気」を喚起する。
- ②コミュニケーション力を高める → 自分の気持ちを相手に伝え、相手の気持ちを受け取る。
- ③人前に出る積極性を身につける → 簡単な表現遊びにより、周りから見られることに慣れ、表現の楽しさを実感する。
- ④頭の中で即興的に言葉を紡ぐ → 相手の話を聞くことの大切さに気付く。自由な発想力による言葉の構成力を高める。

(3) 目的により、2分間スピーチを最終回に行う。 → 一人ずつ、クラス全員の前で、自分の名前と課題を2分間話す。

※「ロールプレイによる模擬面接」(生徒が面接官、受験者、観察者の三つの立場を体験)のプログラムの追加実施も可能



生徒の感想

●「人はたくさんのお考えを持っていて、自分が持っていない考えを持っている人たちが集まるから楽しい」ということと、「人が加わることによって考えが広がっていく」ということ。自分の中のお考えもこの時間で増えました。たくさんのお考えに対して視野を広げて、いろいろなことに挑戦していきたいです。

教員の感想

●生徒の自主性、協調性、表現力の向上や他者との関係を築く手段としてとても良い。文化祭や体育祭でクラスが一丸となった時に、その効果を実感しました。

★課題対応能力 → チームで課題解決に取り組む

プログラム名

チームコンセンサス・ワークショップ[2コマ連続×1回]
(NPO法人16歳の仕事塾)

グループワークを通じて、自分の考えや意見をしっかりと他人に話し、ディスカッションしながらチームとして最適解を出すことが大切であることを学ぶ課題解決型のプログラム。活発に話し合ったチームが良い結果を生み出すことを体験できるワークショップです。

(1) 5、6名が一つのチーム。客船が沈没し、飛び移った救命ボートが漂流中という設定の問題文を読む。チーム全員が生き残るためにはどうすればいいのか、提示されている道具の中から必要と思う物の優先順位を付ける。まず、個人で考えて答えを出し、その後、チームで話合っ、一つの解答にまとめる。

(2) 各チームの解答を発表する。

(3) 正解の発表と解説を行い、個人及びチームの解答と正解との誤差をそれぞれ出す。活発で良い話し合いをしたチームは、チームの誤差が個人の誤差より小さくなる。

(4) チームでの振り返りとワークシートの記入ー話し合っ感じたこと、印象的な場面等について、個人ワークで付箋に書き出し、それをチームで共有する。時間が取れる場合は発表。全体のまとめ



生徒の感想

●思いもよらぬ意見が出てきて、仲間の大切さが分かった。意見を一致させることは難しいけど、ある程度人数がいる方が意見の幅が広がる。討論する時は意見をしっかりと交換し合える雰囲気作りをしようと思った。

教員の感想

●あまり発言しないような生徒も積極的に議論に参加しており、普段見られない一面も見られてとても良かった。今回、少人数で経験した議論の進め方を、クラス全体での話し合いにも生かしていければと思う。
●合意形成の難しさを体験できたことが良かった。

皆それぞれ意見が違うから、より深い話ができるということに気付いた。